

一般社団法人佐賀青年会議所 2025年度基本方針	
全国大会特別会議 議長 山本 光一郎	
委員会 スローガン	小さなまちの大きな挑戦～持続可能な全国大会を目指して～
委員会 基本方針	地方における全国大会開催を構築し、地域における佐賀青年会議所の意義と目的を発信する。
委員会 設置背景	2025年度は一般社団法人佐賀青年会議所が公益社団法人日本青年会議所2025年度第74回全国大会佐賀大会の主管を務めます。そこで、全国大会佐賀大会を佐賀青年会議所が日本青年会議所と緊密な連携を図りつつ全国大会の運営を行う必要があります。 過去5年の全国大会では在籍数が100名以上のLOMが全国大会を開催していますが、全国的にはLOMメンバー数が減少傾向にあります。このような、全国のLOMメンバー数が減少しているという現状を踏まえて、限られたメンバー数で地域の特色やコミュニティを活かしつつ、効率的かつ発展的な全国大会の運営の仕組みを構築して持続可能な全国大会にブラッシュアップしていく必要があります。先日発表された都道府県魅力度ランキングでは、佐賀県は47位の最下位となっています。しかし、佐賀は、歴史的な遺産や自然の美しさ、伝統的な文化が豊富な地域です。そのような佐賀の魅力や特色を全国大会を通して、全国に発信し、多くの参加者が佐賀の地を訪れることで、地域経済へのインパクトを与える必要があります。
委員会 設置目的	第74回全国大会佐賀大会では、日本青年会議所との緊密な連携を図り、これまでの全国大会の在り方に囚われることのない効率的かつ発展的で持続可能な全国大会のモデルケースを構築することを目的とします。これにより、全国各地の地方青年会議所が主管を務めることができると感じられる大会を目指します。また、佐賀青年会議所のメンバー一人ひとりが全国大会の運営に積極的に参画することによってLOMメンバーの団結を深め、今後のLOM活動への積極的な参加ができる雰囲気醸成し、さらなるLOM活動の活性化を促すことも目的とします。
委員会 事業概要	1.決起集会(8月) 全国大会運営に携わる約500名のJCメンバー及び関係者を佐賀にお呼びし、佐賀の伝統と魅力を来県者の地元を持ち帰ってもらうことで、佐賀で全国大会が行われることを各LOMのメンバーに周知徹底してもらうこと及び佐賀青年会議所メンバーの全国大会へのモチベーションを上げることが目的とし、対外、対内ともに全国大会への機運を高めます。 ◆パートナー (1)(公社)日本青年会議所 (2)佐賀青年会議所シニア・クラブ 2.全国大会引継式(11月) 次年度以降の大会もより良い大会にするために、佐賀大会の議案や経験、課題点を引き継ぐことを目的とします。 ◆パートナー (1)(一社)神戸青年会議所 (2)(公社)諏訪圏青年会議所 3.日本青年会議所との連絡調整機関(通年) 全国大会の各事業を構築するために、公益社団法人日本青年会議所国家グループ全国大会運営会議と連携を図ります。 ◆パートナー (1)(公社)日本青年会議所 国家グループ 全国大会運営会議 4.全国大会開催に向けた企画、運営、準備 (全国大会実行委員会)(通年) 全国大会の予算管理や記念事業など全国大会に関する企画、運営、準備をするために、全国大会実行委員会を組織し、実行委員会の運営を円滑に行い、全国大会佐賀大会が全国の地方青年会議所が持続可能な全国大会を開催できるモデルケースを構築できる大会運営を目指します。

	◆パートナー (1)(公社)日本青年会議所 国家グループ 全国大会運営会議
その他 事業計画	世界会議(チュニス大会)参加者の支援(11月)
拡大目標	委員会5名(全体25名)